

# 江東区 中小企業の景況

令和6年度第3四半期

発行元：江東区地域振興部経済課  
調査機関：(一社)東京都信用金庫協会

※詳細はホームページをご覧ください。

## 【調査の概要】

- 調査時期・・・・・・・・・・ 令和6年10月～12月期を対象に令和6年12月上旬に実施
- 調査方法・・・・・・・・・・ 面接聴取調査
- 調査の回収状況・・・・・・・・ 有効回収率 99.0%

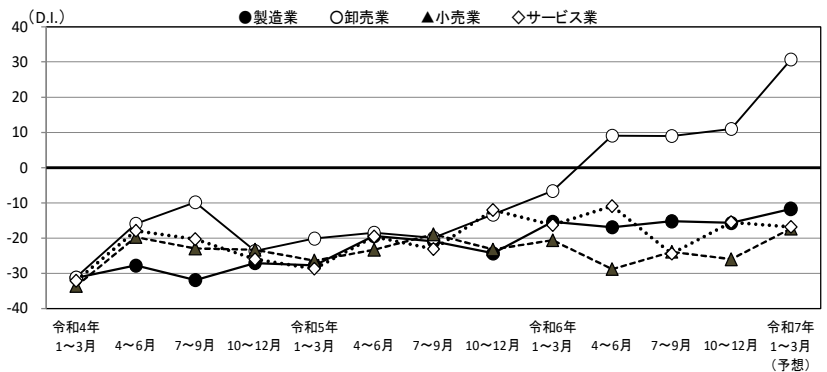
	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製造業	104	103
卸売業	21	21
小売業	37	37
サービス業	34	33
総合	196	194

## ●各業種別業況の動き

	前期	今期	前期からの増減	来期(2025年1月～3月)	
				来期予想	今期からの増減
製造業	-15.2	-15.7	-0.5	-11.7	4.0
卸売業	9.0	11.0	2.0	30.7	19.7
小売業	-23.9	-26.0	-2.1	-17.3	8.7
サービス業	-24.4	-15.5	8.9	-16.8	-1.3
総合	-15.4	-14.7	0.7	-9.0	5.7

※前期(2024年7～9月) 来期(2025年1月～3月)  
※「総合」は上記の4業種でのD.I値

**業況(△15.4→△14.7)は0.7ポイントの改善となった。**  
～サービス業で8.9ポイント持ち直し、卸売業で2.0ポイント上向いたが、小売業で2.1ポイント、製造業で0.5ポイント悪化が強まる～  
業況判断DI(季節調整済、「良い」企業割合-「悪い」企業割合)は-14.7(前期は-15.4)とわずかに改善した。業種別に見ると、サービス業で8.9ポイント大きく持ち直し、卸売業で2.0ポイント上向いたが、小売業で2.1ポイント悪化を強めた。製造業は前期並の悪化幅で推移した。  
来期の業況判断DIは、悪化幅がかなり縮小すると予想している。業種別に見ると、卸売業で好調感が極端に強まるのをはじめ、小売業で大幅に改善し、製造業で多少持ち直す見込みである。



## ●各業種別の今期の特徴と来期の予測

製造業	<p>業況は前期並の悪化幅で推移した。売上額、受注残、収益も前期同様の水準で推移した。価格面では、販売価格と原材料価格は前期並の水準で推移した。原材料在庫は引続き適正水準が保たれた。</p> <p>来期の業況は多少持ち直すと予想している。売上額と受注残はやや改善するが、収益は今期並の減益幅が拡大すると見込まれている。販売価格は幾分上昇を強め、原材料価格は今期並の上昇幅で推移すると予想している。</p>
卸売業	<p>業況は堅調に推移した。売上額は好感がやや強まり、収益は大きく持ち直してプラスに転じた。価格面では、販売価格は上昇幅がかなり縮小し、仕入価格は上昇し厳しさが更に増した。在庫数量は大きく減少し不足に転じた。</p> <p>来期の業況は好調感が極端に強まると予想している。売上額は増加傾向を非常に強め、収益も増益幅が拡大すると見込んでいる。販売価格は今期並の上昇幅が続き、仕入価格は厳しい状況は続くものの上昇傾向がかなり弱まると予想している。</p>
小売業	<p>業況は悪化幅がやや拡大し、売上額も減少傾向を若干強め、収益は減益幅が大幅に拡大した。価格面では、販売価格は前期同様の上昇水準で推移し、仕入価格は上昇傾向が大幅に弱まった。在庫数量は過剰感が現れた。</p> <p>来期の業況は水面下ながら大幅に持ち直すと見込んでいる。売上額は大幅に改善しわずかに増加に転じ、収益も減益幅が大きく縮小すると予想している。販売価格と仕入価格はともに上昇傾向が幾分弱まると見込まれている。</p>
サービス業	<p>業況は水面下ながら大幅に持ち直した。売上額は多少改善したが、収益は前期並の減益幅で推移した。価格面では、料金価格は上昇が一服し、材料価格は上昇傾向がやや弱まった。</p> <p>来期の業況は今期並の悪化幅で推移すると見込まれているが、売上額と収益は減少・減益傾向がかなり強まると予想している。また、料金価格は再び上昇を強め、材料価格は上昇がやや弱まると見込まれている。</p>

# 特別調査

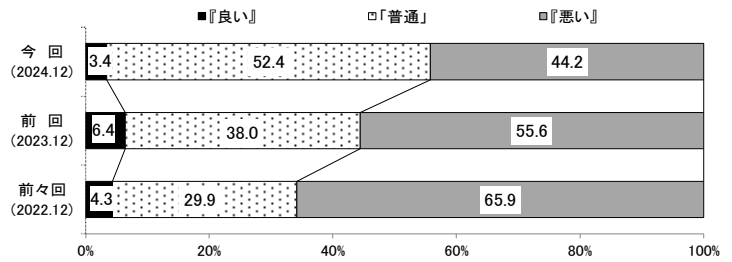
## 「2025年(令和7年)の経営見通し」

本調査結果の特徴	① 2025年の日本の景気見通し	『良い』 3.4% (前年度調査比 3.0ポイント減少) 『悪い』 44.2% (前年度調査比 11.4ポイント減少)
	② 2025年の自社の業況(景気)見通し	『良い』 6.3% (前年度調査比 4.1ポイント減少) 『悪い』 27.7% (前年度調査比 14.7ポイント減少)
	③ 2025年の売上額の対前年度比伸び率	『増加』 10.2% (前年度調査比 11.6ポイント減少) 『減少』 16.0% (前年度調査比 1.3ポイント減少)
	④ 自社の業況が上向く転換点の見通し	『短期』 31.1% (前年度調査比 8.6ポイント減少) 『中期』 23.3% (前年度調査比 5.1ポイント減少) 『長期』 45.6% (前年度調査比 13.6ポイント増加)
	⑤ 脱炭素化への取組み(信用金庫業界)について	信用金庫業界に期待する取組み ・「行政からの支援内容の紹介」13.2% ・「事例の紹介」9.3% 信用金庫業界の取組状況 ・「知らない」77.9% ・「知っている」21.6%

### ① 2025年の日本の景気見通し

物価の高騰や、深刻な人手不足を背景に『良い』と回答した割合は3.4%に留まり、前年度調査の6.4%より3.0ポイントの減少となった。一方、『悪い』と回答した企業も44.2%と、前年度調査の55.6%より11.4ポイントの大幅な減少となった。

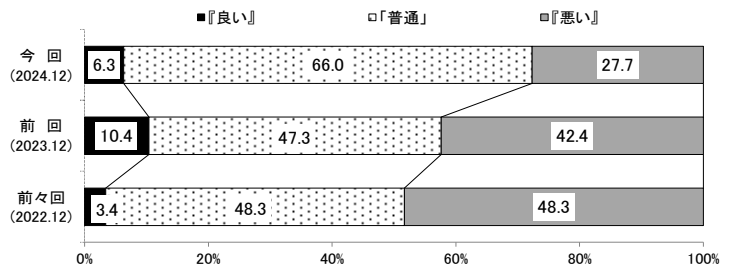
### ① 2025年の日本の景気見通し



### ② 2025年の自社の業況(景気)見通し

『良い』と回答した企業は全体の6.3%で前年度調査の10.4%より4.1ポイント減少した。一方、『悪い』と回答した企業は27.7%で前年度調査の42.4%より14.7ポイント減少し、「普通」と回答した企業は66.0%で前年度調査の47.3%より18.7ポイントの大幅な増加となっている。

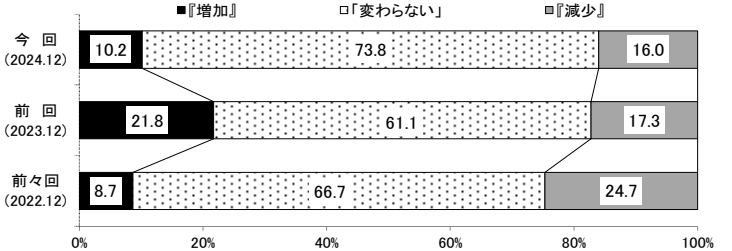
### ② 2025年の自社の業況(景気)見通し



### ③ 2025年の売上額の対前年度比伸び率

『増加』を予想している企業が10.2%と前年度調査の21.8%より11.6ポイント大幅に減少した。一方、『減少』を予想している企業は16.0%となり、前年度調査の17.3%より1.3ポイントのわずかな減少となっている。

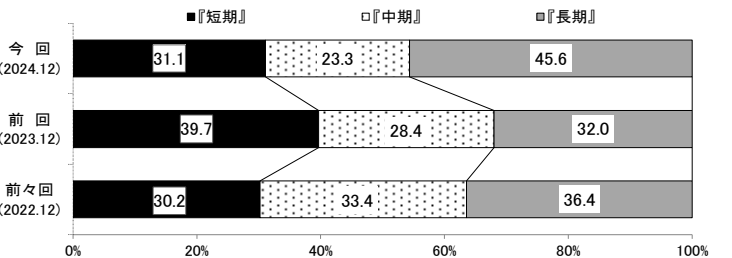
### ③ 2025年の売上額の対前年度比伸び率



### ④ 自社の業況が上向く転換点の見通し

『短期』で上向くと予想した企業が31.1%で前年度調査の39.7%から8.6ポイント減少した。内訳は「すでに上向いている」16.5% (対前年度0.7ポイント増)、「1年後」11.2% (対前年度調査6.4ポイント減)、「6ヶ月以内」3.4% (対前年度調査2.9ポイント減)であった。

### ④ 自社の業況が上向く転換点の見通し

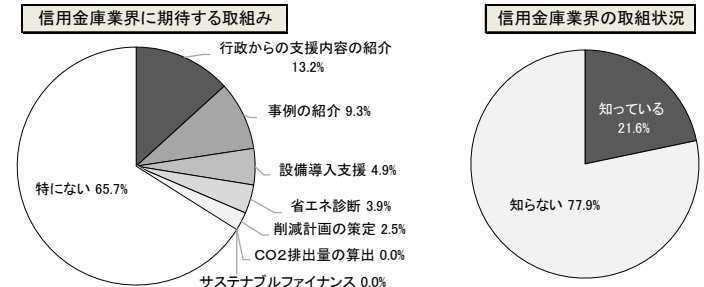


また、2年後、3年後の『中期』とみる企業は23.3%と前年度の28.4%より5.1ポイント減少した。一方、3年超の『長期』とする企業は「業況改善の見通しが立たない」とする回答と併せて45.6%で前年度調査(32.0%)より13.6ポイント大幅な増加となっている。

### ⑤ 脱炭素化への取組み(信用金庫業界)について

信用金庫業界に期待する取組みについては、「行政からの支援内容の紹介」が最も多い13.2%となった。次いで、「事例の紹介」(9.3%)、「設備導入支援」(4.9%)が上位を占めた。その他「特になし」との回答が65.7%であった。

### ⑤ 脱炭素化への取組み(信用金庫業界)について



また、信用金庫業界の取組状況として「知っている」が全体の21.6%に留まり、「知らない」との回答が77.9%であった。